

ボランティアセンターだより

No. 17 (6月号)

あたたかい善意をありがとうございます！

4月3日(火)、7日(金)に新十津川町防災無線で子ども用マスクの素材またはマスク募集の依頼を行い、多くの皆さまよりマスク素材、マスクの寄付をいただきました。本当にありがとうございます。

今回、手作りマスクを作成、寄付いただきました、高橋さんと西浦さんに無理を言い、インタビューをさせていただきました。ご協力ありがとうございます！

①お二人のお名前

高橋 正子さん、西浦 たか子さん

②お住まいの行政区

みどり区

③マスクの募集を何で知ったのか？

【西浦】 防災無線を聞いて、一人でやるより二人の方が良いと思って高橋さんに教えた。

【高橋】 そうなのさ。防災無線を聞いて、困っているから何かできることをしようと話をしていた。

【西浦・高橋】 自宅で作ったり、お互いの家に行って出来栄を確認していた。

【高橋】 一つ作るのに大体、20分くらい。

④お二人の集まりはどういった会なのか？

【西浦・高橋】 手芸仲間の毎週1回、大和「夢」で教えてもらっている。
3年目になる。

⑤ いつもどのような商品を作っているのか？

【西浦・高橋】 吊るし飾りを作っている。

⑥ 小・中学生に伝えたいことは？

【西浦・高橋】 コロナウイルスに負けないで、これからも元気いっぱい頑張ってください。という気持ちでマスクを一つずつ作りました。



お二人からは約 250 枚の手作りマスクを寄付いただきました。また、ここでは紹介しきれませんが、多くの皆さまからマスクの素材となる布や手作りマスクの寄付をいただきました。改めて、お礼申し上げます。



発行：新十津川町ボランティアセンター

〒073-1103

樺戸郡新十津川町字中央 307 番地 1

総合健康福祉センター「ゆめりあ」内

TEL 0125-74-5343

タイトル未定

「ご挨拶」



皆さん、こんにちは。

4月でゆうこのハミングが最終話を迎え、6月号より「ヒラリーマンのつぶやき or ひらっちのつぶやき」がスタートいたしました。温かなご声援をいただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

3月、4月は異動や転勤、引越、第2、3の人生のスタートなどもあったかと思います。順調なスタート切りましたでしょうか？

世界では日本を含めて、新型コロナウイルスが猛威を振るい、国内でも感染者・発症者が出ている状況です。新型コロナウイルス問題が日本で報道されるようになってから、約4カ月が経ちました。時々刻々と変化する事象に対応するため、社会福祉協議会でも総会、会議等の中止や延期、または書面開催など密にならないように対応してきました。少しでも早く新型コロナウイルスが終息となるよう、願っています。

今回、皆さまにお知らせするのは、ご存じかと思いますが、新型コロナウイルスが流行してからヨコ文字(英語)を頻繁に目にするようになったと思います。私も苦手なヨコ文字を調べてきましたので、ご家族またはご友人と会話をするとき役に立っていただき、この機会にヨコ文字苦手を克服して感染拡大防止に役立っていただければと思います。

今後とも「ヒラリーマンのつぶやき or ひらっちのつぶやき」をよろしくお願いいたします。

覚えておきたい新型コロナウイルス関連ワード

- ①北海道ソーシャルディスタンス … 互いに手を伸ばしても届かない距離を保つこと。
- ②テレワーク … 在宅勤務
- ③クラスター … 小規模な集団感染やそれによってできた感染者集団。
- ④オーバーシュート … 爆発的に感染患者が増える状況。
- ⑤ロックダウン … 都市封鎖
- ⑥パンデミック … 世界中の人に感染する可能性がある病気が、制御不能で大規模に流行している状態。



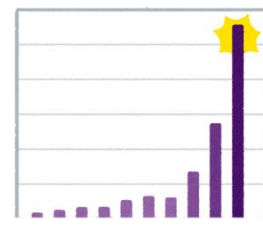
()



()



()



()

上の4つのイラストに当てはまる①から⑥までの数字を入れてみましょう！

※答えはなくても、皆さん大丈夫ですね？